

「阪神・淡路大震災」の概要

1 地震の概要

- 1-1 発生年月日 平成7年1月17日(火)、05時46分
- 1-2 震源地 淡路島北部(北緯34度36分、東経135度03分)
- 1-3 震源の深さ 14 Km
- 1-4 規模 マグニチュード7.2

2 各地の震度

- 2-1 震度7 神戸市須磨区鷹取、長田区大橋、兵庫区大開、中央区三宮、灘区六甲道、東灘区住吉、芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川付近等のほぼ帯状の地域。宝塚市の一部、淡路島東北部の北淡町、一宮町、津名町の一部の地域
- 2-2 震度6 神戸、洲本
- 2-3 震度5 豊岡、彦根、京都
(震度4以下は省略)

3 人的被害

- 3-1 死者 6,308名
- 3-2 行方不明 2名
- 3-3 負傷者 41,500余名

4 火災および液状化の発生

- 4-1 火災の発生 火災による損傷数は7,608棟、面積は659,401㎡
- 4-2 液状化の発生 瀬戸内海沿岸域において大規模な液状化が発生。神戸および六甲アイランドを含む臨海埋立地では20～50cmの地盤沈下が発生

5 住居の被害

- 5-1 全壊 100,209棟
- 5-2 半壊 107,074棟
- 5-3 一部破損 183,436棟

6 公共建物の被害

- 6-1 兵庫県 1,902施設
- 6-2 京都府 477施設
- 6-3 大阪府 1,747施設
- 6-4 その他 398施設

7 ライフラインの被害

- 7-1 水道関係 約123万戸が断水。全国各地から約18,000人の応援を得て2月末に仮復旧が終了。復旧・耐震化を含む災害被害額は約706億円



- 7-2 電気関係 関西電力管内で約 100 万戸が停電(地震直後は一時的に260万戸)。1月23日15時に停電を解消
 - 7-3 ガス関係 大阪ガス管内で約 86 万戸が供給停止。他の事業者の応援を加え最大時約9,700名で復旧に当たり、4月20日までに不在需要家を除き供給を開始
 - 7-4 情報通信関係 電源被害等により約 29 万の加入者に障害が発生したが翌日の午前中までに復旧
 - 7-5 下水道関係 処理能力に影響の出た 8 処理場のうち 7 処理場は早期に仮復旧を実施。5月1日には通常の処理を開始
- 8 交通関係の被害
- 8-1 鉄道関係 JR 西日本、阪急、阪神、神戸市交通局、神戸高速鉄道等13社で被害発生。復旧に要する費用は JR 関係で約 1,080 億円、民鉄関係で約 1,470 億円(平成7年5月9日現在)
 - 8-2 道路関係 名神高速道路、中国自動車道、阪神高速道路、直轄国道等で 27 路線・36 区間で交通止め
 - 8-3 港湾関係 神戸港、尼崎、西宮、芦屋港等 24 港において埠頭の沈下等が発生
- 9 阪神・淡路大震災による被害額
- 国土庁が平成7年2月14日現在で把握した被害額は次の通り
- 9-1 建築物等(住宅、店舗・事務所・工場、機械等) 約 6 兆 3,000 億円
 - 9-2 交通基盤施設(道路、港湾、鉄道) 約 2 兆 2,000 億円
 - 9-3 ライフライン施設(電気、ガス、水道、下水道、通信・放送等) 約 6,000 億円
 - 9-4 その他 約 5,000 億円
 - 9-5 総額 約 9 兆 6,000 億円

出典:平成7年版『防災白書』等による